

## 要 請 書

流山市長 井崎 義治 様

2021年12月14日  
日本共産党流山市議団

本年10月に提出した来年度予算要望以外で、当面、予定される課題について、下記、要請する。

- 1, 体制が手薄となる年末年始も含め救急医療及び、PCR等検査体制の確保について、万全を期すこと。  
また、感染から回復後の後遺症に関する相談及び医療体制を確立すること。
- 2, 新型コロナウイルスワクチン3回目接種について、事務作業の前倒しに向け、体制を構築し、ワクチンが届き次第、前倒し接種が実施できる体制を構築すること。  
また政府に対し、ワクチン供給の計画的安定供給の前倒し実施を働きかけること。
- 3, 政府が進める個人向け給付金支給について、コロナ禍で困っている世帯へ届けられるよう支給対象者の拡大を政府に要請すること。また、「18歳以下の10万円給付」は、全額現金給付できるよう最大限努力すること。
- 4, 年末年始において、ホームレスを含む生活困窮者対策への支援体制を整備すること。  
また、「福祉灯油」など独自補助の創設・拡充にふみ出すこと。
- 5, クリーンセンターの安定稼働に全力を挙げ、最優先すること。そのため、指定ごみ袋強制使用の導入は延期し、市民生活の混乱や職員事務の多忙化を回避すること。
- 6, 家庭ごみの収集運搬委託事業者及び、現場従事者で新型コロナウイルス感染症が連続した経緯を踏まえ、防疫（危険）手当を特別に支給し、作業の労苦に応えること。

以上。